

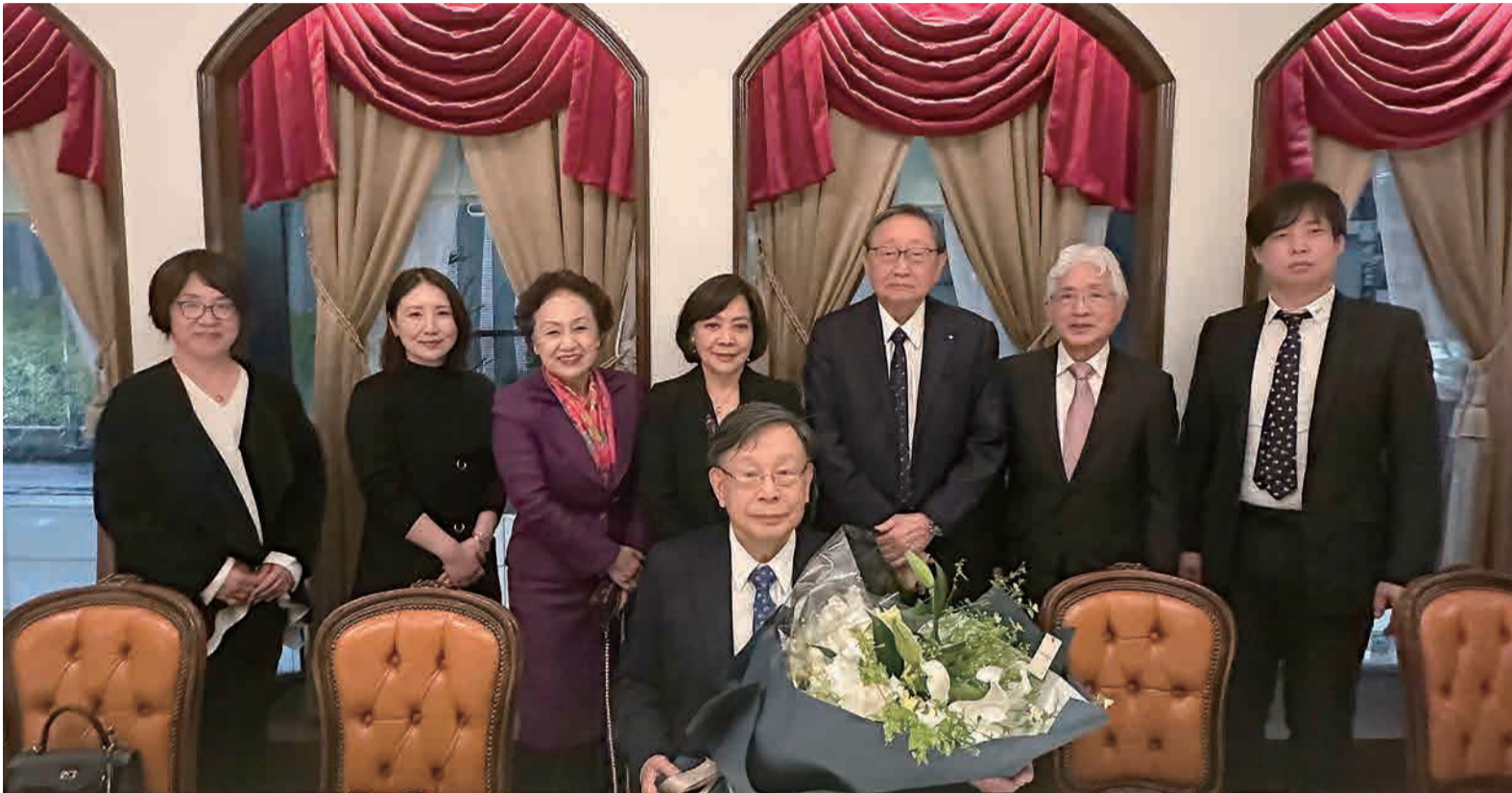


個室ユニット型施設 推進協ニュース

2026年
(令和8年) 4月号
NO. 224

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協会
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-20-8
ベネックスS-3 4階
TEL: 045-577-4212 / FAX: 045-577-4213
MAIL: info@suishinkyo.net

- <特集>介護報酬改定の分析と次期改定に向けた要望 <2面>
- 賛助会員の紹介 <3面>
- 選定調査員研修会のお知らせ <4面>
- 第4回理事会 <2面>
- 介護ニュース・ダイジェスト <4面>
- 事務局から <4面>
- 若井参議院議員に支援を要請 <2面>
- ズバリ回答! 人事・労務のお悩み <4面>



木村義雄先生祝賀会にて (3月31日)



木村義雄氏(元厚労副大臣)が参院選挙当選 推進協赤枝会長が祝意と期待を表明 自民党個室ユニット議連会長への就任も決定

全国個室ユニット型施設推進協会赤枝眞紀子会長は2月27日、今年2月に繰り上げ当選した自民党の木村義雄参院議員(比例)を議員会館に訪ね、祝意を伝えた。訪問には佐々木亀一郎政治連盟代表も同席した。

木村氏は厚生労働副大臣などを歴任し、介護をはじめ社会保障行政に詳しい。また、森英介衆議院議員の議長就任に伴い、個室ユニットケア推進議員連盟の会長に就任した。今年度は2027年度介護報酬改定に向けた議論が本格化することから、中核的存在としての発言力が期待されている。

木村氏は今年2月の衆院選に立候補した青山繁晴参院議員(現衆議院議員)が自動失職したことに伴い、22年参院選の比例名簿に基いて繰り上げ当選した。

木村氏は衆議院議員を7期務め、その間に衆院厚生委員長、厚生労働副大臣などの要職を担った。13年に参院議員に初当選し、現在2期目(任期は28年夏まで)。社会保障分野に造詣が深い。

懇談では個室ユニット型施設が直面する課題についても突っ込んだ意見交換が行われた。赤枝会長は「介護1・2の高齢者が有料老人ホームやサ高住に囲い込まれてしまう問題を指摘。「有料ホームよりも私たちのケアが優れている自信はあるが、要介護度が重くなつてからの入所ではユニット型の生活を十分楽しんでもらえない」として、特養入所を原則、要介護3以上としたルールを改めるべきだと訴えた。木村氏は「寝たきりになってからしか入所できないのでは個室ユニットケアの理屈に



多床室との「格差」解消を
また同行した推進協の懸上忠寿事務局長はユニット型の居住費が多床室よりも高く設定されていることが、ユニット型普及の障害になっている実態を挙げた。特養の居住費(負担限度額)は利用者の負担能力(収入)によって決まる。それならばユニット型と多床室との間で差をつける理由はないというのが推進協がかねて掲げている主張だ。懸上事務局長は「ユニット型と多床室の居住費をイーブンにしてほしいというのが絶対に譲れない点だ」と説明した。

木村氏は介護保険料が上昇を続ける中、介護サービスが受けられなければ国民の不満が高まるとの認識を示した上で、「良質なサービスを拡大する」という観点から、要介護1・2の利用を個室ユニットに限って広げる方策は考えられるのではないかと述べた。



木村先生議員会館訪問 (2月27日)

令和9年度 介護報酬改定要望を考える 第8回介護保険委員会



推進協は3月17日、今年度第8回の介護保険委員会(藤村二郎委員長)を開き、来年度に予定される介護報酬改定に向けて、団体としての要望事項の検討を行った。6月にも開催が予定されるユニットケア推進議員連盟の総会に提出する考えだ。

介護報酬は令和8年度も臨時に改定が行われたため、2年連続の改定となるが、8年度の改定が不十分との意見が多く、次期改定に向けて熱のこもった議論が行われた。

推進協事務局より近年の介護報酬改定の分析が示され、昨今の賃金物価の上昇局面での介護報酬改定は、多くの課題を残していることを明らかにした(詳細は別記)。

意見交換では、田中委員から食費の負担について、「最近では重度化してしまい常食の人は69人のうち2人だけになっている。食形態の種類も増えており、その分コストもかかっている。また、栄養補助食品などの負担も大きい。こうした点についても報酬改定では考慮してもらいたい」との提起に対し活発な議論が行われ、要望事項に反映される見通しとなった。

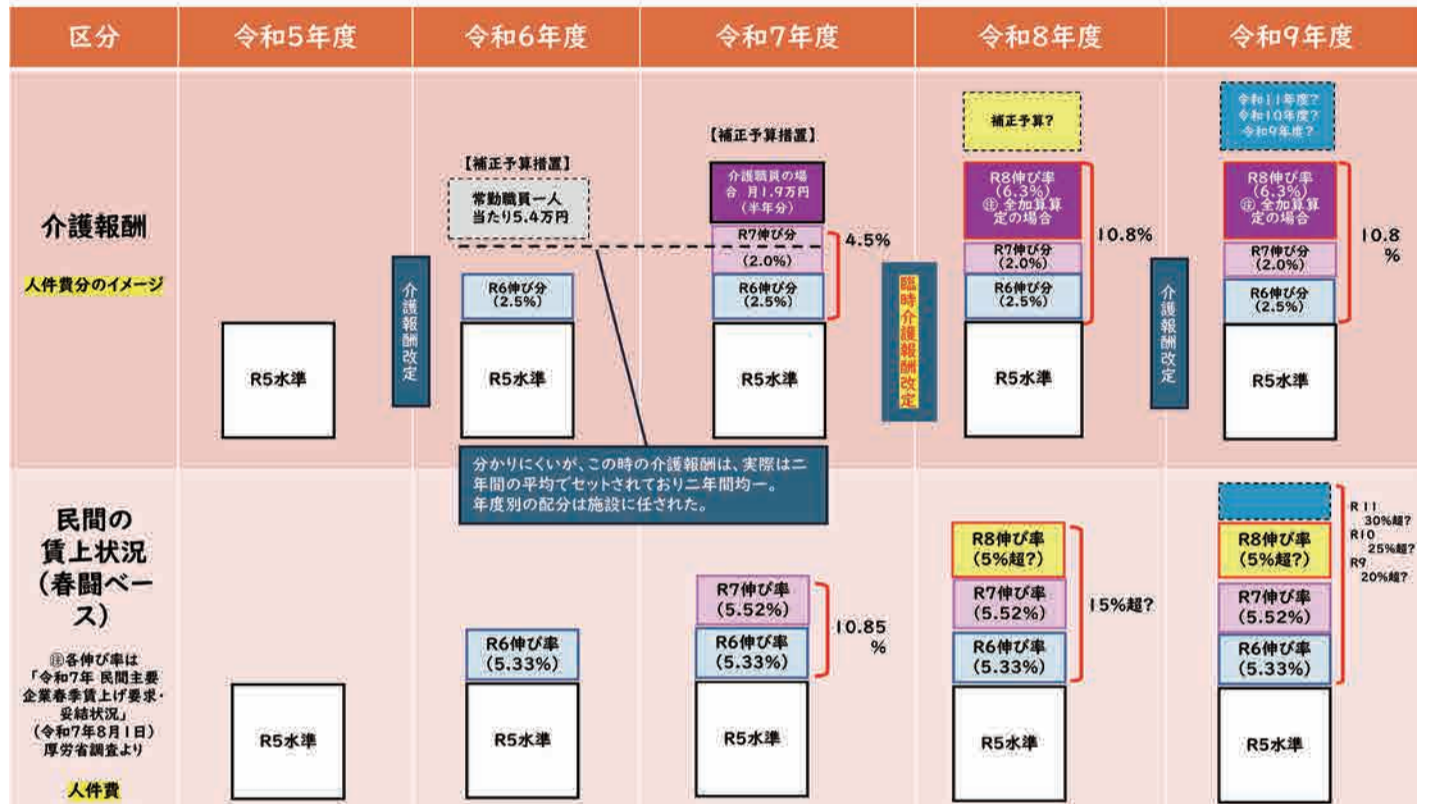
介護報酬に賃スラ、物スラの導入を要望中!!

推進協は賃金上昇率、物価上昇率に連動（スライド）させて介護報酬を引き上げるよう求めています。

特集 介護報酬改定の分析と次期改定に向けた要望

介護報酬の改定状況

- ・令和7年度補正予算措置は半年分（2025.12～2026.05分か?）だが、必要な額が請求出来ているか、また足りているか。
- ・8年度の報酬改定（介護職員の場合で最大月1.9万円（6.3%）相当）は7年度補正（人件費）を介護報酬に織り込んだだけか。物件費上昇分は見込まず?
- ・8年4月春闘分は措置されていない。8年度補正予算措置と9年度の報酬改定はどうあるべきか。



今年（令和7年度）は来月6月に介護報酬の改定（以下、今回改定）が予定されており、介護給付費分科会では既に議論が始まっている。

そこで、今月号と5月号に分けて介護報酬改定に関する特集を掲載する。今回はまず昨年行われた臨時介護報酬改定（以下、臨時改定）を分析し課題を明らかにする。

別表をご覧ください。令和5年度をベースに見ると、民間は毎年順調に5%程度賃上げが行われているが、これ

に比べ令和5年の介護報酬の改定水準は低く、これを補うため、2年続けて補正予算対応が行われた。今年度実施された臨時改定ではこうした補正予算分を介護報酬に取り込む形で改定が行われた。内容を分析すると、まず補正予算の水準は十分だったのか。特に、予算の積算の考え方を常勤職員一人当たり単価（令和6年）としたり、介護職員の処遇改善を月額1・9万円の半年分（令和7年）としてみたりと、また、半年分だけで

良いとした根拠も不明で改定手法に大きな疑問が残ることとなった。

次に令和8年度の臨時改定後の介護報酬だが、現段階での水準は、令和7年度までの物価上昇対応と理解するが、この4月の春闘ではさらに賃上げが行われる。前回改定の低さが全産業平均との差を拡大させた結果も明らかになっている状況下で、介護業界の賃上げはまたしても後手に回ることとなる。今回は今回改定の対案を考える。

27年度報酬改定へ活動強化 新年度事業、予算など決定

25年度第4回理事会

推進協は3月12日、2025年度の第4回理事会をオンライン形式で開き、理事ら役員20人が出席した。昨年12月以降の事業報告▽「20周年」式典の開催と記念誌発行に関する2件の報告事項、26年度事業計画案▽同予算案▽新規入会施設と賛助会員に関する3件の議案が議題に挙げられ、いずれも承認・決定された。事業計画と予算はほぼ前年を踏襲。ユニットリーダー研修の現地研修未修了者の解消に向けた現地研修施設の確保が依然として課題とされるほか、厚生労働省が検討を進めている同研修のカリキュラム見直しへの対応が求められる可能性がある。

併せて理事会では全国個室ユニット型施設推進政治連盟代表の佐々木亀一郎理事から、先の衆院選で同政治連盟が推薦した26人の全員当選と、個室ユニットケア推進議員連盟の森英介会長の衆院議長就任に伴い、会長交代が行われる予定であることが報告された。

理事会終了後、理事懇談会が開かれ、26年度の介護報酬改定（期中改定）を踏まえた上で、27年度の本改定を見据えた取り組みが話し合われた。期中改定では介護職員を対象に最大月1万9000円の賃上げがうたわれるが、生産性向上を要件とした上積み（7000円）と定期昇給（2000円）が含まれ、額面通りの処遇改善が実現するのは不透明だ。出席者からは介護の現状に対する国の認識を問う声や、処遇改善は複雑な加算ではなく基本報酬に組み込むなどシンプルな仕組みにすべきだとの意見が出された。また「都市部でも待機者が減っており、処遇改善加算の回収が稼働率に影響する恐れがある。ユニット型は人員配置が手厚い分、賃上げをするために法人負担が発生するのではないか」との懸念も示された。人口減少・サービス需要の変化に応じたサービス提供体制の構築については、地域によっては大きな転換も起き得ることから、注視していく意見などが出された。

若井あつこ参議院議員に ユニット型施設の支援を要請 安江副会長



左から安江紀子副会長、若井あつこ議員、後藤喜代司施設長（幸紀会特養燦）

略歴
1971年9月12日、岐阜県岐阜市生まれ。
（公財）全日本空手道連盟公認7段。
空手道の世界チャンピオン（四連覇）
2023年、岐阜県議会議員選挙にて3期目の当選を果たす。
2025年、参議院議員選挙において、初当選。

推進協の安江紀子副会長（社会福祉法人幸紀会理事長）らは、3月21日に若井あつこ参議院議員を訪ね、個室ユニット型施設の推進やユニット議連への入会を要請すると共に、推進協への今後の協力についてもお願いした。

若井議員は、参議院岐阜選挙区選出で、令和7年の選挙で初当選を果たしている。

介護大学校から

令和8年度がスタートし、介護福祉士実務者研修を立ち上げてから、4年目の春を迎えました。日頃の皆様のお力添えに心より感謝します。

各地の分校が続々と実務者研修を開講しています。今年度、初めて開講する分校は、寿松園分校（静岡県）、天寿荘分校（佐賀県）、船橋あさひ苑分校（千葉県）、陽だまりの園分校（神奈川県）、富士見プラザ分校（神奈川県）、生田広場分校（神奈川県）、太陽の園分校（神奈川県）、柿生アルナ園分校（神奈川県）の8分校です。

しようじゅの里三保サテライト分校（神奈川県）、しようじゅの里小野分校・しようじゅの里鶴見分校合同開催（神奈川県）、岐南仙寿うれし野分校（岐阜県）、ところの苑分校（埼玉県）、みなみの苑分校（埼玉県）の6分校・5教室は、昨年度に引き続き開講が決定しています。また、明見苑分校（千葉県）、湘南くすの木分校（神奈川県）、しようなあさひが丘分校（愛知県）、陽だまり分校（福岡県）の4分校は、昨年度後半に開講しており、今年度はスクーリングを開催します。その他、開講予定の分校も多数あり、開講時期を検討・調整中です（3月末現在）。

その他の研修

- ※実務者研修教員講習会
 - ※介護福祉士実習指導者講習会
 - ※介護福祉士実習講習会
 - ※医療的ケア教員講習会
 - ※介護福祉士国家試験直前講座
 - ※ユニットケア基礎研修
 - ※ユニットケアアセスメント研修
 - ※虐待防止研修（Eラーニング）
- 【特別研修】
※実務者研修教員向け特別研修
6月11日（木）、12日（金）
1泊2日の集合研修
会場：川崎市産業振興会館
申込期限：4月30日（木）
（詳細はホームページ参照）

おむつを開けずに
中が分かる

全国の病院や
介護施設に
続々導入中！

詳細は
コチラ

排泄検知センサー
ヘルパッド

株式会社aba

株式会社aba

Compact Chair Bath
shuttle fit
コンパクトチェアバス シャトル フィット
A88F / A88FS

心地よい時間のために、
浴槽が進化しました。

株式会社アマノ

株式会社アマノ

すぐに使えて、頼りになる
大容量・高出力の蓄電池。

大容量
600Wh

高出力
1000W

BCP対策・震災時
などの停電対策に

初動に強く
シンプルで使いやすい。
落下や破損の
リスクが低く
災害に強い蓄電池。

加地コーポレーション株式会社

加地コーポレーション株式会社

無償デモ
好評受付中

入浴介助時間
30%削減

株式会社金星

株式会社金星

介護施設向け 食事提供トータルサービス

Cook Deli
クックデリ

無料試食会開催中！

おいしく健康的で
楽しみのある
食事をお届けします。

株式会社クックデリ

クックデリ

最強
最速
の
介護記録入力

CARE KARTE
X
ハナスト

CARE CONNECT JAPAN

株式会社ケアコネクトジャパン

株式会社ケアコネクトジャパン

快適品質
心地よいこと
清潔であること

Quality of Comfort「快適品質」をお届けします。

株式会社 小山商会

株式会社小山商会仙台支店

株式会社小山商会仙台支店

賛助会員のご紹介

ご活用をお願い致します。事務局
(五十音順)

リスクと業務を減らす

無線ナースコールシステム「ココヘルパ」
映像とスマホアプリでケア時間を最適化！

リスク減 呼出優先度を映像で把握

業務減 夜間はリモートで見守り

0120-53-2211 GCOMM

ジーコム株式会社

ジーコム株式会社

施設の福祉用具・消耗品・備品・介護ロボットなら

人とモノをつなぐ
ジェー・シー・アイ

株式会社ジェー・シー・アイ

ジェー・シー・アイ

SONY

子ども型見守り介護ロボット
HANAMOFLO®
「ハナモフロ」

リビングの見守りと個別のアクティビティ
を行えるロボットです。実用化に向けて
研究開発中です。有償モニターとしての
協力希望施設を募集しています。

株式会社ソニーグループ

ソニーグループ株式会社

大事な職員の離職は防止できる！
導入実績100施設以上

年間480万円
採用コスト削減

株式会社とほなす

とほなす株式会社

Have You Ever Seen aams?
介護ロボット導入支援事業対象機器

見守り介護ロボット
aams / アアムス

株式会社バイオシルバー

株式会社バイオシルバー

うめサブローチャンネル
UMESABUROChannel

現場で使えるレク動画満載！

株式会社フラワーカー뮤니ティ放送

株式会社フラワーカー뮤니ティ放送

不足しがちなカルシウムを補う ジョア

生きて腸までとどく！
乳酸菌 シロタ株が1本(125ml)に12.5億個以上

株式会社ヤクルト

株式会社ヤクルト

LifeSalon ほけんの相談ショップ

保険相談が何度でも無料！

株式会社ライフサロン

株式会社ライフサロン

ロイヤル介護

施設情報・パンフ掲載 無料

特養ナビ

お客様へ 資料送付も 無料

株式会社ロイヤル介護

ロイヤル介護

介護「ユース・ダイジェスト

2月26日(水)
3月25日(水)

■大都市部などへも介護の基準緩和
特例適用を議論へ(2月26日)

政府の規制改革推進会議は中間答申をまとめた。中山間・人口減少地域で人員配置基準の緩和などを行う特例介護サービスの新たな類型について、大都市部や一般市などでも介護サービスの提供が困難なエリアがあるとして、対象範囲を「過度に限定しないこと」と記述。26年度中に介護給付費分科会で結論を得るべきだとした。

■推進協 ユニットケア研修カリキュラム見直し委員会(3月2日)

第三回の委員会が開催され、取りまとめが行われた。昨年度から継続して2年間に渡っての検討だった。実質厚労省主催の委員会。

■厚労省 第10期計画の基本指針の概要を提示(3月9日)

自治体で作る27年度からの第10期介護保険事業(支援)計画のガイドラインとなる国の基本指針について、検討されるべき事項の概要を介護保険部会で示した。三つの地域類型(中山間・人口減少地域、大都市部、一般市等)を念頭に置いた計画策定が必要とされる。今年7月をめどに指針の見直し案がまとめられる予定。

■26年度の現役世代の介護保険料は平均月6360円(3月9日)

厚労省は26年度に40〜64歳が負担する介護保険料(第2号保険料)として、平均月6360円(事業主負担分、公費分含む)の見込み額を介護保険部会に報告した。会社員などサラリーマンの支払い額は労使折半となる。

■特例入所は人口減少地域のサービス維持に有効(3月11日)

要介護1・2の利用者が特養に入所できる特例入所制度について、厚労省は中山間・人口減少地域のサービス提供体制確保の状況によっては有効だとして、制度の円滑な実施を自治体に要請した。老健局が公開した全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議の資料で高齢者支援課が説明した。

■厚労省 リーダー研修修了後の再確認を周知(3月11日)

高齢者支援課は全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議の資料でユニットリーダー研修について説明し、研修修了後に意見交換の場を設け、課題の共有などが行えるよう修了生へのフォローアップの取り組みを自治体に求めた。

■財務省 「秋の建議」の予算反映状況を報告(3月12日)

財政制度等審議会が昨年12月に出した「26年度予算の編成等に関する建議(秋の建議)」の予算案への反映状況を記載した資料を同審議会の財政制度分科会に提出した。介護分野では建議が求めている利用者2割負担の範囲拡大について、預貯金などの把握に関する検討を行い、第10期介護保険事業計画期間の開始(27年度)前までに結論を得ると記述した。

■EPA介護福祉士候補者らも処遇改善の対象に(3月13日)

厚労省は26年度に施行される臨時の介護報酬改定に伴い、介護職員に対して最大で月1万9000円の賃上げを可能とする処遇改善加算の趣旨や事務手続きなどについて自治体に周知した。併せてQ&A(第1版)を公表し、EPA介護福祉士候補者や特定技能の外国人人材も同加算の対象になるといった説明を盛り込んだ。

■「パート合格」初年度の介護福祉士試験合格発表(3月16日)

厚労省は介護福祉士国家試験の合格者を発表した。受験者数は7万8469人で前年度から約3000人増加した一方、合格者は5万4987人で約4000人減った。合格率は70.1%と前年度の78.3%から大きく落ち込んだ。導入初年度となる「パート別合格者」は延べ1万1625人。

■厚労省 5月実施の介護実調へ協力呼びかけ(3月17日)

27年度の介護報酬改定に向けた作業の基礎資料となる介護事業経営実態調査を今年5月に実施するとして介護施設・事業所に協力を要請し

た。実調は無作為抽出方式で行われ、25年度の損益状況をはじめ介護テクノロジーの導入や職員の配置・給与などを調べる。

■日本医師会など 高額な紹介手数料への対応を提言(3月18日)

日本医師会と四病院団体協議会は有料職業紹介事業の適正化に関するワーキンググループの報告書を公表した。高額な紹介手数料により医療・介護の提供体制が揺るがされているとして、紹介手数料の上限規制、早期離職に伴う返戻金制度の義務化などを提言した。

■特養などの居住費負担が8月から一部引き上げ(3月13日)

厚労省は特養など介護保険施設の食費・居住費の負担限度額改正を告示した。低所得者のうち一定の収入がある入所者が対象。ユニット型では今年8月から食費が第3段階①で1日当たり30円、第3段階②で60円引き上げられる。同じく居住費は第3段階②で100円引き上げられ、1470円(月約4万5000円)となる。

■7月末までにLIFE移行作業の完了が必要(3月23日)

厚労省はLIFE(科学的介護情報システム)の運営主体を国保中央会に移管することに伴い、各施設・事業所がLIFE関連加算の算定継続のため、利用者情報の再登録などの移行作業を5月11日から7月31日までの間に行う必要があることを周知した。

■推進協 浅尾慶一郎参議院議員パーティが開催され、赤枝会長らが参加した。



ズバリ回答！人事・労務のお悩み 雇入れ時の研修と安全配慮義務

【今月の相談内容】

雇入れ時の研修はどこまで行えばよいのでしょうか。実施しない場合、どのような問題が生じますか。

【回答】

雇入れ時研修は、単なるオリエンテーションではなく、職員が安全かつ適切に業務を遂行するための基盤づくりです。特に介護現場においては、移乗・排泄・食事介助・感染対策など、生命や安全に直結する業務が多く、研修を怠ることは重大なリスクを伴います。

まず想定されるのは、職員の労働災害です。適切な手順や危険予測を学ばないまま業務に従事した場合、腰痛や転倒、感染などが発生しやすくなります。この場合、「必要な教育を行っていたか」が問われ、安全配慮義務違反として損害賠償に発展する可能性があります。

次に、利用者への事故です。転倒や誤薬、不適切な介助などが発生した場合、家族から「なぜ十分な教育をしていない職員

を現場に配置したのか」と問われ、組織としての責任が厳しく追及されます。教育不足は、個人のミスではなく「体制の不備」と評価される点が重要です。

さらに、労務トラブルも生じます。「教えられていないのにできない」と評価された」といった不満は、試用期間中の解雇や評価の妥当性を巡る紛争につながります。研修記録が不十分な場合、事業者側の主張は弱くなります。

加えて、行政指導においても研修体制は重要な確認事項です。実施の有無だけでなく、内容・記録・継続性が求められ、形式的な対応では不十分と判断されることがあります。

したがって、雇入れ時研修は「実施したか」ではなく、「理解し、実践できる状態まで到達しているか」を確認することが重要です。チェックリストや実技確認を取り入れ、記録として残すことが、事故防止と組織防衛の両面において不可欠といえます。

推進協監事・特定社会保険労務士 ITコーディネーター 栗田淳二

5月21~22日大阪で開催 選定調査員研修会のお知らせ 実地研修施設に参加を要請中

推進協では昨年度に続き、一泊二日の日程で選定調査員研修会を開催します。今年度の開催地は大阪です。実地研修施設の方は是非ご参加ください。

- 対象者 選定調査員、実地研修施設の施設長他希望者
- 日程 5月21日(木)13~17時・22日(金)10~15時
- 場所 大阪市内 ④宿は各自で確保願います。
- 内容 1日目、選定調査での実際の評価方法意見交換で実施)④夜は近辺で懇親会を予定。2日目、カリキュラム見直し案の検討、実地研修施設向けリーダー研修の開催会を設ける事について検討など)講師決め意見交換。
- ・詳細及び申込1月28日付の留意事項通知の文書を参照
- ・申し込み締め切りは4月23日(木)。延長しました。

事務局長から
街のあちこちで桜がほころび始め、心も少し軽くなる季節となりました。
春は新しい挑戦を始めるのに最適な季節。各地域での取り組みやイベントの企画など、皆さまのアイデアが活動の広がりにつながりますので、ぜひお気軽に事務局までご相談ください。どんな小さな声でも大歓迎です。
今年度も、皆様と楽しく活動を進めていけることを楽しみにしています。(井田)

時間 13:00~16:45

一般職員向けのオンライン研修

ユニットケア基礎研修

【内容】
ユニットケアの理念と特徴他(GWあり)

ユニットリーダー研修と同じテキストを使用。同じ講師が担当いたします。

ユニットケアのモデル施設
になりませんか?

ユニットリーダー実地研修施設 緊急募集!

下記までお電話ください!!
詳しくは >> suishinkyu.net 045-577-4212